

# R2年度 使用済み紙おむつリサイクル推進に向けた実証事業の概要

## 実証事業①「燃料化」

「使用済み紙おむつをペレット燃料にして、廃棄物の減量化や資源有効利用等を効果を検証」

【公社荏原病院】

紙おむつ燃料化装置を、荏原病院の敷地内に設置。同医療機関から排出される使用済み紙おむつを燃料化装置に投入し、生成物から固形燃料ペレットへ生成



【紙おむつ燃料化装置】

【事業者：株式会社スーパー・フェイス】

【紙おむつ生成物】



【ペレット】



【燃焼利用】



## 実証事業②「収集・運搬」

「収集運搬方法の検討、異物混入調査等を実施し、紙おむつの最適な再生利用方式を検証」

東大和市と連携し、高齢者施設等から使用済み紙おむつを回収し、排出状況の確認、おむつ以外の混入状況の調査、効率的な収集・運搬を検証



【事業者：ユニ・チャーム株式会社】

## 実証結果

**燃料化**：本装置によるペレット化で、**減量化率は約7割、燃焼利用した場合約9割以上**。当設備は水処理プロセスを含まないことから広いスペースを必要とせず導入における柔軟性がある一方、処理量拡大への対応は困難。また、生成燃料の品質、マーケット拡大なども今後の検討課題

**収集・運搬**：本実証事業において、袋に混入する**異物（手袋・お絞り等）の混入率は、当初の1割程度から数%まで低減**。収集した紙おむつから処理施設（鹿児島）において**リサイクルパルプを算出**。また、広域処理を行う場合、廃掃法に係る手続きなど複数自治体との調整が伴う